

2022年3月14日
第3461号 for Residents

週刊（毎週月曜日発行）
発行＝株式会社医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp
JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

New Medical World Weekly 週刊医学界新聞



医学書院

www.igaku-shoin.co.jp

今週号の主な内容

- [対談]小児感染症診療の新たな展開(青木眞、齋藤昭彦)/漢方医学教育SYMPOSIUM開催……………1—2面
- [連載]絶対に失敗しない学会発表のコツ……………3面
- [連載]ケースで学ぶマルチモビディティ(終)……………4面
- MEDICAL LIBRARY/[連載]ひなこの研修日記(終)……………6—7面

対談

小児感染症診療の新たな展開

青木 眞

感染症コンサルタント

齋藤 昭彦

新潟大学大学院医歯学総合研究科
小児科学分野 教授

齋藤 「化学療法を受けた小児血液腫瘍患者は免疫が低下し、重症感染症に罹患しやすい。どう診療したらいいのだろう」。聖路加国際病院で小児科研修をしていた当時、私が直面した課題でした。進む道を照らしてくれたのが、米国での研鑽を経て帰国し、聖路加国際病院に赴任した青木先生です。内科診療の傍ら、先生は研修医を対象に感染症診療の講義を開催してくれました。感染臓器・微生物・抗菌薬の「感染症診療のトライアングル」(図)を意識した体系的な講義に大きな衝撃を受けたのを、鮮明に覚えています。

青木 懐かしいですね。聖路加国際病院には、当時から勉強熱心で前途洋々な若手医師が多くいました。「感染症診療の原則」、つまり感染臓器を絞り込んで状況から微生物を予測し、最適

な抗菌薬を選択する診療スタイルに触れたことで、先生方が大きく育っていただきました。

齋藤 レクチャーの他に、当時は患者さんの治療方針の相談にも乗っていただきました。その中で強く印象に残っているのは、思春期の悪性リンパ腫の患者さんの相談です。骨髓移植後に熱が続き、小児科の指導医に相談しても明確な答えが出ず、青木先生に相談しました。その時に、診療で重要な培養検査が不十分なままに患者さんの評価を行っていた点を指摘されたのです。「米国なら医師免許剥奪されるかもしれない」の言葉にショックを受けて、小児感染症を深く学ばなければ！と奮起し、その当時、日本を大きくリードしていた米国へと渡りました。

青木 期待を掛けていたこともあり、厳しく指導し過ぎたかもしれませんが(笑)。齋藤先生をはじめ、厳しい指導を肥やしに成長する研修医が当時は多くいました。しかし最近は繊細な研修医が多く、成長してもらえるように気を遣いながら指導しています。

成人との違いを意識して ジェネラルに診る

齋藤 米国留学中は内科診療の基本を叩き込まれました。その中で、病歴聴取と身体所見から鑑別診断を考え、必要な検査を実施して診断・治療に結び

付ける思考過程を会得しました。厳しかった米国小児科レジデントの3年間は、小児感染症医としての基礎を形作っています。

青木 その後も米国で臨床医・研究者としてのキャリアを積み重ねた齋藤先生は、13年間の“武者修行”を経て、日本人初となる米国小児科学会認定の小児感染症専門医として2008年に帰国しました。米国では日本と異なり、当時からすでにサブスペシャリティとして小児感染症専門医が確立されていました。多くの点で日米のギャップを感じたのではないのでしょうか。

齋藤 はい。日本の小児感染症診療は、2つの点で世界水準に大きく遅れを取っていました。1つは診療ガイドラインです。例えば日本の関連学会が作成した当時のガイドラインでは、新生児の治療として国際的には禁忌であるはずの薬剤が推奨されるなど、エビデンスの批判的吟味が不十分でした。そのため各学会に働き掛け、いくつかのガイドラインの改訂を図りました。

青木 日米の診療スタイルの違いに悩む気持ちはよく理解できます。歴史的背景や医療体制の差異によることもありますね。もう1つの違いは何ですか。

齋藤 診療体制です。当時、日本では感染症科を備えた小児専門医療施設はほとんど存在しませんでした。そこで、赴任した国立成育医療センター(当時)で感染症科を立ち上げ、コンサルテ

ション業務を中心とする小児感染症診療を開始しました。その後も、2010年に都立小児総合医療センターで感染症科が立ち上がるなど多くの先生のご尽力により、いくつかの小児専門医療施設で感染症科が設立されました。日本の感染症診療ではこれらの施設を筆頭に、全人的に患者を診るジェネラルなスタイルが浸透しつつあります。

青木 日本各地で先生の仲間や弟子が活躍し、小児感染症領域のいい潮流が生まれていますね。感染症領域では、成人/小児を問わず、総合診療マインドが重要です。問題となる感染臓器を検討するには、病歴や身体所見に鑑みて臓器を横断的に診た上で、さまざまな角度からアプローチする必要があるからです。

齋藤 同感です。小児感染症診療では、成人との違いを意識するのが欠かせません。小児は新生児、乳児、幼児、学童、思春期と成人よりも年齢層が幅広く、感染しやすい臓器や起因微生物、使用可能な薬剤がダイナミックに変化します。特に幼児(6歳未満)では、自らの症状をうまく表現できないために病歴聴取や身体所見を取るのが難しいのです。小児感染症医には成人との差異を踏まえた方略が必要であり、臨床現場にもその認識が普及しつつあると感じています。

(2面につづく)

感染臓器

●患者背景
●重症度

微生物

抗菌薬

- 図 感染症診療のトライアングル(『レジデントのための小児感染症診療マニュアル』p.42より作成)
- 感染症診療では、感染臓器・微生物・抗菌薬の三要素に加えて、患者背景と重症度の考慮が重要になる。

March
2022

新刊のご案内 医学書院

専門医のための血液病学

編集 鈴木隆浩、竹中克斗、池添隆之
B5 頁432 定価：13,200円[本体12,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04772-2]

がんCT画像読影のひきだし

編集 稲葉吉隆
B5 頁248 定価：4,950円[本体4,500+税10%]
[ISBN978-4-260-04928-3]

レジデントのための 小児感染症診療マニュアル

編集 齋藤昭彦
A5 頁884 定価：9,900円[本体9,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04294-9]

麻酔科レジデントマニュアル (第2版)

編集 川口昌彦
B6変型 頁456 定価：4,180円[本体3,800+税10%]
[ISBN978-4-260-04903-0]

精神科レジデントマニュアル (第2版)

編集 三村 将
編集協力 前田貴記、内田裕之、藤澤大介、中川敦夫
B6変型 頁368 定価：4,180円[本体3,800+税10%]
[ISBN978-4-260-04932-0]

標準組織学 総論 (第6版)

改訂 岩永敏彦、岩永ひろみ、小林純子
原著 藤田尚男、藤田恒夫
B5 頁384 定価：9,020円[本体8,200+税10%]
[ISBN978-4-260-04349-6]

標準組織学 各論 (第6版)

改訂 岩永敏彦、渡部 剛
原著 藤田尚男、藤田恒夫
B5 頁584 定価：12,100円[本体11,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04132-4]

標準小児外科学 (第8版)

監修 上野 滋
B5 頁452 定価：8,800円[本体8,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04796-8]

ウォームアップ微生物学

中込 治
A5 頁232 定価：2,420円[本体2,200+税10%]
[ISBN978-4-260-04929-0]

リハビリテーション医学・ 医療コアテキスト (第2版)

監修 日本リハビリテーション医学教育推進機構、日本リハビリテーション医学会
総編集 久保俊一
編集 角田 亘、佐浦隆一、三上靖夫
B5 頁384 定価：4,400円[本体4,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04959-7]

内部障害のリハビリテーション医学・ 医療テキスト

監修 日本リハビリテーション医学教育推進機構、日本リハビリテーション医学会
総編集 久保俊一、海老原覚
編集 上月正博、牧田 茂、伊藤 修
B5 頁288 定価：4,620円[本体4,200+税10%]
[ISBN978-4-260-04591-9]

動画で学ぼう PT・OTのためのハンドセラピー 【Web付録付】

編集 斎藤和夫、飯塚照史、下田信明
編集協力 秋山洋輔
B5 頁224 定価：4,620円[本体4,200+税10%]
[ISBN978-4-260-04886-6]

2022年版|系統看護学講座|準拠 解剖生理学ワークブック

編集 坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀
B5 頁136 定価：2,200円[本体2,000+税10%]
[ISBN978-4-260-04688-6]

半日講義 看護過程と看護診断

古橋洋子
A5 頁96 定価：1,650円[本体1,500+税10%]
[ISBN978-4-260-04251-2]

看護診断 第27巻 第1号

編集 日本看護診断学会
B5 頁74 定価：3,080円[本体2,800+税10%]
[ISBN978-4-260-04931-3]

看護医学電子辞書16

定価：61,050円[本体55,500+税10%]
[JAN4580492610568]

●本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは、お近くの医書専門店または医学書院販売・PR部へ ☎03-3817-5650
●医学書院ホームページ〈https://www.igaku-shoin.co.jp〉もご覧ください。

●あおき・まこと氏
1979年弘前大医学部卒。沖縄県立中部病院などの研修を経て84年に渡米。米ケンタッキー大などで研修。92年に帰国後、聖路加国際病院感染症科、国立国際医療センター（当時）エイズ治療・研究開発センターを経て、2000年より現職。全国の医療機関への感染症コンサルテーションを行っている。著書に『レジデントのための感染症診療マニュアル（第4版）』（医学書院）。

●さいとう・あきひこ氏
1991年新潟大医学部卒。聖路加国際病院小児科の研修を経て95年渡米。米南カリフォルニア大（USC）小児科レジデント、米カリフォルニア大サンディエゴ校（UCSD）小児感染症科クリニカルフェロー、アシスタントプロフェッサーを務める。2008年に帰国後、国立成育医療センター（当時）感染症科医長を経て、11年より現職。編著に『レジデントのための小児感染症診療マニュアル』（医学書院）。

(1面よりつづく)

若手の教育を充実させて
診療水準の向上をめざす

青木 ここまで、日本における小児感染症診療の道のりをたどってきました。近年の小児感染症領域では、医学生や若手医師への教育でも大きな前進があると聞いています。齋藤先生が新潟大学で実践している教育体制について教えてもらえますか。

齋藤 感染症に限らず、小児医療のグローバル・スタンダードをめざす指導を行っています。具体的には、実践にすぐ役立つ最新の小児医療をインタラクティブに学ぶBasic Core Lectureの年4回の実施、一次から三次まで異なる環境での小児科のトレーニング、専門領域の国内外での研修、国際学会での発表の推奨などが挙げられます。

青木 世界に通じる、プロフェッショナルの小児科医を育成できる取り組みですね。

日本小児感染症学会に目を転じると、齋藤先生や堀越裕歩先生（都立小児総合医療センター総合診療部感染症科/免疫科医長）、それから米国留学を経て齋藤先生の後任として国立成育医療研究センターに赴任した宮入烈先生（現・浜松医大小児科学講座教授）など、これまで日本の小児感染症診療を主導してきたメンバーによって育成された優秀な若手が、教育プログラムの構築に当たっています。

齋藤 ええ。若手向けの教育活動をまとめてくれている笠井正志先生（兵庫子ども病院感染症科科长）が中心とな

り、多くの若手が日本小児感染症学会の教育委員会に集まり、小児感染症診療教育の在り方を真剣に検討してくれています。その中で現在まで継続されているのが、「教育セミナー Basic Course」です。主に初期研修医や専攻医を対象に、3日間かけてジェネラルな小児感染症の診かたを徹底的に学ぶ、双方向的なレクチャーを実施します。「感染症診療の原則」の講義から症例ベースのディスカッションまで、6〜7時間かけて行うセッションです。これまで11年継続して開催し、700人以上が受講しています。

青木 素晴らしいですね。成人感染症の領域でも、そのような活動がますます発展すると思います。

齋藤 さらに、学会認定の小児感染症専門医制度を2017年に新設しました。同年から暫定指導医による研修制度を整備し、小児感染症診療水準の向上をめざしています。学会認定専門医制度では厳格な合格認定基準を設けており、初めて専門医を認定した20年の合格率は、およそ7割でした。制度設計に当たっては、米国小児科学会の小児感染症専門医の試験を参考としています。

青木 米国の高いプロフェッショナルリズムを日本に“輸入”したわけですね。

齋藤 はい。繰り返すようですが、小児感染症は成人感染症とは大きく異なる領域であり、小児独特の高い専門性が求められます。学会認定専門医が活躍して日本における小児感染症診療水準の向上をめざすには、専門医の認定に高いハードルを設け、その存在意義を明確にするのが引き続き不可欠だと考えています。

小児感染症診療発展の
メルクマール

青木 米国流の診療や教育が浸透する一方で、小児感染症は成人感染症と比べて専門領域としての確立から日が浅く、また指導は各施設の指導医の力量に任されている現状があります。その中で齋藤先生が『レジデントのための小児感染症診療マニュアル』を上梓したのは、小児感染症診療発展のメルクマールと言えるのではないのでしょうか。

齋藤 ありがとうございます。本書は青木先生が著された『レジデントのための感染症診療マニュアル』の「小児版」をコンセプトに掲げ、診断や治療

漢方医学教育 SYMPOSIUM 開催

漢方医学教育の発展・充実をめざして2017年に設立された日本漢方医学教育振興財団による「漢方医学教育 SYMPOSIUM 2022」が2月11日、Web配信形式で開催された。同財団による2018年度漢方医学教育研究助成対象となった7研究の最終報告の他、2021年度漢方医学教育奨励賞・功労賞受賞者の講演、総合討論などが行われた。

◆わが国の漢方医学教育のさらなる充実化のために必要な取り組みは

奨励賞を受賞した近畿大東洋医学研究所の武田卓氏は、更年期障害や月経関連疾患に漢方薬が多く処方されている現状を紹介し、女性のヘルスケアにおける漢方の重要性を強調した。氏も作成委員を務めた日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会監修による「産婦人科診療ガイドライン——婦人科外来編 2011」では、漢方の内容を多く盛り込み、若手医師の漢方診療教育に寄与したという。今後の展望として、「漢方医学教育を研修医に実施し、全診療科の医師が女性ヘルスケア疾患の初期対応をよりスムーズに担えることをめざしたい」との見解を示した。

続いて「漢方医学教育には、漢方薬を用いて患者中心の医療を提供できる臨床医の育成が重要」と主張したのは、功労賞を受賞した松田隆秀氏（聖マリアンナ医大）。漢方薬を用いた臨床医の育成には、学修者が①漢方医学の知識と技能、②医療倫理をはじめとする漢方医学の「作法」を修得する必要性があると訴えた。また大学間で漢方医学教育資源の格差が大きい現状を問題視し、解決に向けて全国82の大学医学部が参加する日本漢方医学教育協議会を2015年に立ち上げたと報告。同協議会は医学教育モデル・コア・カリキュラム（以下、コアカリ）に準拠した漢方医学教育基盤カリキュラムなどを作成したという。今後、同協議会では漢方医学教育でPBLやTBLなどに活用できる教育方略の検討を予定していると語った。

◆コアカリの記載内容は充実化するも課題は残る

「医学部における漢方教育の在り方——医学生にわかりやすい漢方教育を目指して」と題した総合討論（座長＝高知大病院・瀬尾宏美氏）で瀬尾氏は、「漢方医学の重要性が国内外で増している」と説明した。発言の背景には、2019年に世界保健総会で採択されたICD-11に漢方医学を含む伝統医学の章が初めて収載されたことや、2015年に「医学教育分野別評価基準日本版」（世界医学教育連盟グローバルスタンダード準拠）に「補完医療との接点を持つ」と明記されたことがある。これらを踏まえて、医学生にとってよりわかりやすい漢方教育の在り方を探りたいとした。

指定講演「漢方教育の課題と展望」では、広島大の蓮沼直子氏がコアカリにおける漢方教育の記載の充実化に注目した。医学教育の到達目標として「和漢薬を概説できる」が2001年に記載され、最新の2016年度のコアカリではより詳細に「漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる」と記載されたという。一方で残る課題として、教え方や評価がコアカリに記載されていない点を指摘し、具体的な学習内容の提示や評価の情報共有が必要だと主張した。追加発言を行ったのは松田氏。卒前教育では全医学部で実施できる漢方医学教育に取り組むこと、卒後教育では専門医制度を通じて漢方専門医の教育をさらに深めることが必要だと述べた。

全体のまとめとして、日本漢方医学教育振興財団常務理事の三瀧忠道氏が、「漢方医学教育の発展に向けて基盤カリキュラムや標準テキストの整備、さらには質を担保した講師の確保が必要」と訴えた。その上で同財団では、漢方医学教育がより充実する環境を整えるための活動が続けるとし、一層の理解と支援を参加者に呼び掛けた。

2022年度漢方医学教育研究助成、奨励賞・功労賞の募集は5月より行われる予定。詳細は、募集と同時期に財団ウェブサイト（www.jkme.or.jp）にて公開される。

方針で迷った際に参照できる書籍をめざしました。

小児感染症では臨床データ不足のために明らかになっていない点が多くあります。本書の執筆では、研究が進み明確な点は知識を網羅的に提供するようにし、研究の途上でエビデンスが不足している点は長年の臨床経験から導かれた専門家の見解を提示し、さらには両者の区別が明確になるよう心掛けました。

青木 判明していない事柄に直面した際にどう対応するべきか、本書ではプラクティカルな推奨が記載されています。例えば小児の肺炎診断にX線検査が必須かについては、明確な答えはないとする。一方、臨床現場で遭遇するケースを挙げ「X線検査所見のみで確定診断できることはほとんどないため、病歴や身体所見を中心として、必

要に応じて検査結果を参考にする」と述べられています。

齋藤 こうした「まだ明らかになっていない」と本書に記載のある点に疑問を抱いたら、ぜひクリニカルクエストに昇華して臨床研究につなげてほしいです。それが小児感染症患者の予後や死亡率改善など、最終的に小児の利益に結び付くと思います。

青木 総合診療マインドを備えて視野を広く持つ若手医師が増えている小児感染症領域が、研究も含めて今後どのように発展を遂げるのかが楽しみです。

齋藤 小児感染症医を志す若手には本書を活用してもらい、日本の小児感染症診療を新たなステージに押し上げてほしいと思います。それが未来を担う子どもたちの健康を守ることにつながるのです。（了）

まずはこの1冊、やっぱりこの1冊。読み継がれる感染症診療のバイブル。

レジデントのための感染症診療マニュアル 第4版

執筆 青木 眞

感染症診療全般を網羅したバイブルの改訂第4版。病原の同定と適切な薬剤選択を基本に、臨床の実践知が学べる。トピックとして新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、ゾーニング、薬剤耐性菌（AMR）対策、最新の検査法などを収載。一線で活躍するエキスパートらの臨床知が凝縮された渾身の1冊。

A5 頁1730 2020年 定価:13,200円[本体12,000円+税10%] [ISBN978-4-260-03930-7]

医学書院

小児の特徴をふまえた感染症診療の
原則、考え方、具体的なプラクティス

レジデントのための
小児感染症
診療マニュアル

編集 齋藤 昭彦

小児の特徴（Children are not just miniature adults）をふまえた感染症診療の原則、考え方、プラクティスを示し、「感染臓器とそこに感染した微生物を考える」診療を実践していくための最適な一冊。発熱へのアプローチ、感染臓器、検査、原因微生物、治療薬、予防接種の各章で、エビデンスに基づいた記載とともに臨床現場で実際に使えるマニュアルの簡明さも備えた新しいスタンダード！

●A5 頁884 2022年
定価:9,900円
(本体9,000円+税10%)
[ISBN978-4-260-04294-9]

書籍の詳細は
こちらから

医学書院

絶対に失敗しない

学会発表のコツ

医師が避けては通れない、学会や研究会での発表。「どこから準備を進めればいいんだろう?」「大勢の前で話すのは緊張する!」そんな悩みを抱える研修医の皆さんに、発表成功の秘訣を全7回にわたってご紹介。連載を通して、学会発表が得意になろう!

後藤 徹

Toronto General Hospital, Multi-organ Transplant

第6回 Web 発表での Knack & Pitfalls

✔とにかく聴衆の集中力がない！

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行してから、ほとんどの学会はオンラインでの開催がかなわずオンライン形式に移行しました。忙しい臨床医からは「Web 上での学会発表は、移動が不要かつ事前収録が可能で便利！」などと好意的な感想が多く聞かれます。COVID-19 の収束はいまだ見通せず、今後現地開催が増えてもハイブリッド形式（Web 参加も可）を採る学会は多いでしょう。

初めに断っておきますが、Web 発表はかなりの難敵です。第1回（3440号）の冒頭でも述べたように、学会発表の基本目的は「伝える」こと。これは演者の熱意と工夫はもちろん、聴衆側もある程度の緊張感を持って聞いてくれることが前提です。ですがオンライン学会では、聴衆の顔が演者に見えないのをいいことに、お菓子やお茶をたしなむなど、別のことをしながら聞く人も多くいるでしょう。私も日本の学会に北米から参加した際に、時差で眠くてベッドから視聴したことがあります。今回は、このような極端に集中力を欠いた聴衆にもしっかり主張を伝えるための Tips を考えていきます。

✔操作方法を甘く見ない

これはデジタル機器に慣れた若手よりも指導医や座長クラスにお伝えしたい内容ですが、本番前にはオンラインツールの操作方法を必ず予習しておきましょう。マイク・カメラの ON/OFF、スライドの共有は演者自ら行う必要があります。アプリやソフトウェアによって仕様は微妙に異なりますが、おおむね図1の通りです。普段はマイク・カメラを OFF に、出番になったらさっと ON にしてスライドを共有する。こ

れをスムーズにできるよう、事前にアプリを起動して確認します。また、当日の緊急事項の周知や質疑応答はチャット機能を用いて行われる場合もあります。チャット欄に更新がないか、定期的に確認することをお勧めします。

✔見え方と聞こえ方を意識する

聴衆の集中力は演者側からコントロールできません。だからこそ聴衆の理解度を下げないように、できる限り見やすく、聞き取りやすい発表を心掛けます。特に気を配るべき Tips は図2¹⁾にまとめました。中でも視聴者が気になるポイントは、音環境と背景です。事前収録されたデータに救急車や PHS の音が入っていたり、質疑応答中に医局の他の誰かの雑談が聞こえてきたりといった状況は、「その程度の意気込みの発表か」と聴衆にがっかりされます。また、病院の会議室や医局デスクからの発表参加者も多いですが、山積みの書類や「〇〇のお知らせ」といった院内プリントなど機密情報が映るのは避けるべきです。背景設定で周囲にモザイクをかけるか、背景画像を設定して自分以外を映さない工夫が必要です。

✔事前打ち合わせには必ず参加する

Web 発表では座長と大会スタッフとの事前打ち合わせがあります。演者がマイクを ON にするタイミングなど、当日の流れについて細かな説明が行われます。これを「タイムキーパーは座長だから」などと軽んじて蔑ろにしてはいけません。本番当日にスムーズな発表・質疑応答をするためにはもちろん、事前打ち合わせは座長や他の演者に自己紹介するチャンスでもあるので、遅刻や欠席はせずしっかり参加しましょう。

当日クリックする箇所は主に4つ！

1つ目

最初にカメラとマイクの音源を PC かヘッドホンなどの外部出力が選ぶ（音や画像が映らない主原因）。

2, 3つ目

Audio と Video の ON/OFF を左クリック1回で切り替える。

OFF なら名前横にミュートマーク（赤斜線）が入る。

4つ目

プレゼン発表の場合は、ここで自分のスライドを共有。

一部のウインドウまたは画面全体（操作者の PC 画面が全て見られてしまう）が共有できる。

●図1 Web 発表で必要になる、オンラインツールの主な操作

Tips 0 時間厳守

予行接続をする。数分前からアクセス。

Tips 1 目線

机に直接パソコンを置くと画面では上から目線になるので注意。目線を合わせるには画面ではなくカメラを見て話す。

Tips 2 姿勢

見えない部分は姿勢が崩れなければ最も楽な姿勢になるように工夫（飲み物の準備、クッション etc.）。

Tips 3 撮影範囲

カメラから見える範囲を事前に確認。相手側の視界に合わせてジェスチャーを入れる。

Tips 4 音環境

双方向の音声で最も重要なのでヘッドセットやイヤホンマイクは必須！

Tips 5 背景

白が無難。家具や個人情報が映るなら背景設定で見えないように。

Tips 6 その他

マイクはかなり音を拾うので雑音のない静かな環境で（エアコンの音にも注意）。固定回線など安定した高速 Wi-Fi 接続がお勧め。

●図2 オンライン会議・面接で気を付けたい6つの Tips（文献1より）

✔Web 発表の落とし穴に気を付けよう

学会発表をゲームに例えるなら、本連載第1～5回までをクリアしてきた皆さんはいわば Lv.99 の勇者です。しかし Web 発表時のデバフ（不利な状況、能力を下げる効果）に足をすくわれて発表が台無しにならないよう、以下に注意しましょう！

1) 台本の誘惑と早口言葉

Web 発表ではスライドに音声ファイルを付けて提出する“事前に収録しておくタイプ”と、当日自分のスライドを共有しながら LIVE で発表する“リアルタイム配信タイプ”の2つの形式があります。カメラに映らなければ何をしても聴衆には分からないのが Web 発表の特徴ですから、台本を見たい誘惑に駆られる方も多いでしょう。特に前者のタイプでは撮り直しも可能なため、情報を詰め込み過ぎて早口になりがちです。音声が聞き取りづらくならないよう注意しましょう。Web 発表はネット環境やデバイスを介するため現地よりクリアな声が相手に届きにくいものです。一段階スピードを落としてゆっくり話しましょう。

2) 時間感覚の麻痺

Web 発表では、現地開催時の壇上のようにタイマーが用意されていません。オンラインツールやソフトウェア上に残り時間を表示し続ける機能も、私を知る限りありません。従って、自分の PC や手元の時計で時間管理を行う必要があります。発表練習が甘く、また普段から論理的かつコンパクトに話すことを意識していないと、時間感覚が麻痺して長々と発表してしまいます。

以前、“リアルタイム配信タイプ”の発表で上級公演の最終演者となった時のこと。それまでの発表が押しており、自分の番が来た時にはすでに予定の半分しか持ち時間が残っていませんでした。座長から「時間がないので巻いて発表してください」とチャットが来た時は本当にがっかりしました。座長も、現地開催に比べて発表を遮って「時間が押しています」とは言いにくいですから、他の演者のためにも自分でしっかりコントロールします。

3) 孤独との戦い

Web 発表の最も難しいところは、

聴衆の顔が見えない点です。事前収録の場合はそもそもプレゼン中に聴衆はいませんし、リアルタイム配信の場合もスライドを見ていて座長に目をやる余裕はありません。しかも演者以外はだいたいマイク・カメラを OFF にしています。リアクションが見えない中で聴衆の理解度を把握するのは難しく、第5回までに紹介したようなアドリブができません。また時間に多少ゆとりのある Web 講演会などで笑いどころを入れても当然全く反応がなく、エンターテイナーとしてはスベリ続ける中で漫才を継続するような厳しさです。このような状況下でも惑わされず自信を持って発表をやり遂げましょう。

4) 質疑応答の出所と会話のタイミング

Web 発表での質疑は、座長が自身の質問を聞いた後にチャットで公募した質問を読み上げるパターンが多いです。座長によっては同じセッションの演者に質問を促す場合もあるので、他の演者の発表もしっかり聞いて質問を考えておきましょう。

そして質疑に応答する時は、質問者と被らないように答えるのがポイントです。皆さん電話で同時に話してしまい、「どうぞどうぞ」と譲った経験がありますよね。お互いに Active に話そうとする Web 学会ではこれが頻繁に起こります。コツは、相手の口元を見てコメントが終了したと思ってから1秒数えて話し始めること、あるいはこちらの応答時の一言目は相づちで統一することです。また、指導医からの助言を受けられないのも Web 発表の注意点です。会場で発表する時のように共同演者を「召喚」できませんので、気合を入れていきましょう！

Take-home Message

- オンラインツールの操作方は事前に把握しておく。
- 聴衆が見やすく、聞き取りやすい発表となるよう最大限に配慮する。
- Web 発表ならではの“デバフ”を押さえてその対応策を知っておく。

参考文献

1) 後藤徹. オンラインツールを使いこなす者がコロナ禍を制する！. 週刊医学界新聞 3395 号. 2020.

Original Articleをめざそう！ 臨床研究・論文作成の至極の手引書

これで解決！みんなの臨床研究・論文作成

「リサーチエスションの立て方は？」「プロトコルには何を書くの？」「論文はどう書くの？」「英語が苦手でも大丈夫？」「査読者は何をみているの？」など、臨床研究・論文作成にまつわる数々の疑問が解決。Original Article 40本、査読論文100本以上！臨床で研究・論文作成を続ける著者がまとめた至極の手引書。

辻本哲郎





もう、処方で
迷わない。

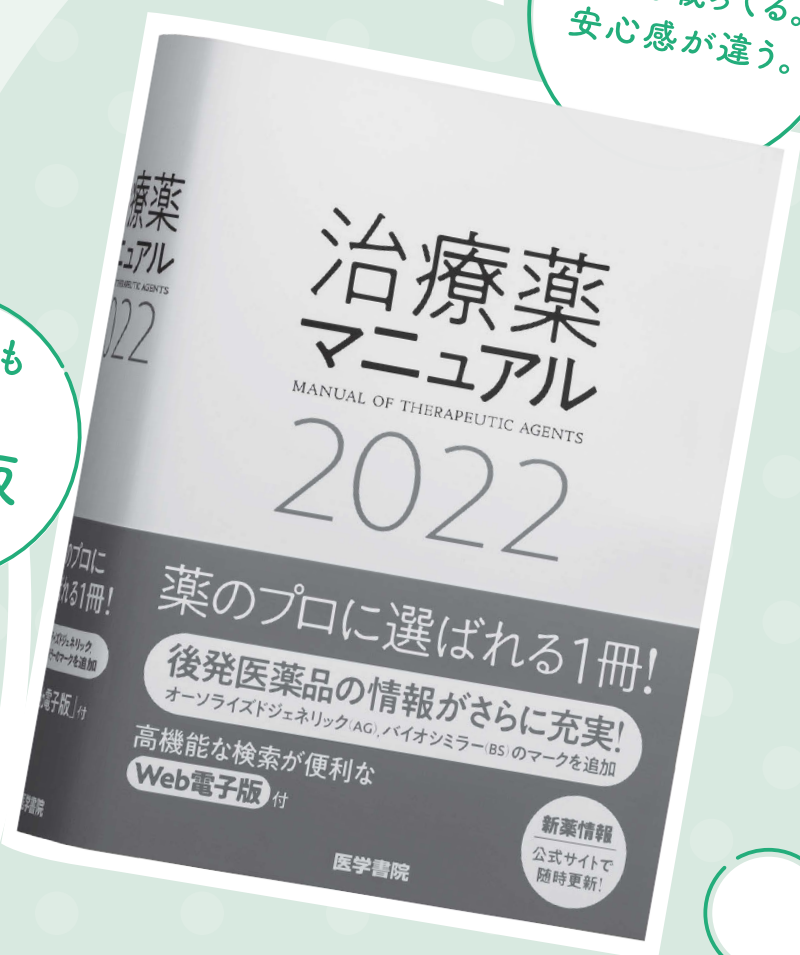
ひらくたび、 新発見。



何でも載ってる。
安心感が違う。



いずれも
Web
電子版
付



『今日の治療指針』は、エキスパート1131人の経験と知識の結晶。
あらゆる疾患・症候の診療のコツ、処方例や薬の使い分けなど、
本書でしか知ることのできないノウハウがぎっしり。

- デスク判(B5) 頁2224 2022年
定価20,900円(本体19,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04776-0]
- ポケット判(B6) 頁2224 2022年
定価16,500円(本体15,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04777-7]

『治療薬マニュアル』の自慢は、圧倒的な情報量。
ほぼ全ての医療用医薬品を収載し、その警告・禁忌・副作用まで網羅。
だから、ハッとしたときも、薬剤情報の細部までくまなくわかります。

- B6 頁2880 2022年
定価5,500円(本体5,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04783-8]

最新知見と役立つ知識が
詰まった2冊。
知りたかったあの情報も、
ぎっしりここに。



今日開いたそのページが、明日の診療をきり拓く。

2冊の電子版を
セットで利用すると、
コンテンツが
自動で連携

2冊併用なら… ●1166疾患・薬剤約18000品目の情報を一瞬で検索! ●処方例から薬剤情報へのジャンプ機能が追加に!

スマホ・PCが“総合診療データベース”に大変身!

・Web電子版の利用期限：2023年1月末まで。 ・Web電子版が2022年版のコンテンツに更新されるのは2022年3月末の予定です。2022年1月～3月は2021年版のコンテンツをご利用いただけます。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7805 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

Medical Library

書評新刊案内

本紙紹介の書籍に関するお問い合わせは、医学書院販売・PR部(03-3817-5650)まで
なお、ご注文は最寄りの医学書院特約店ほか医書取扱店へ

これで解決! みんなの臨床研究・論文作成

辻本 哲郎 ● 著

A5・頁196
定価:3,960円(本体3,600円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-04778-4

『これで解決! みんなの臨床研究・論文作成』は、臨床研究を立ち上げ、論文文化へと進めるにあたって、間違いなく必携の一冊である。著者の辻本哲郎先生は、評者が国立国際医療研究センターに在職中に、初期研修医として内科研修を開始され、その後、糖尿病・代謝・内分泌科の後期研修医、さらにクリニカル・フェロー、そして医員へと、同センターにおいて研鑽の道を歩まれた。この間、辻本氏は糖尿病、内分泌、高血圧、総合内科といった多くの専門医(指導医も)を取得されるとともに、その一方で臨床研究を強く志し、日々、ことあるごとに彼の相談を受けたことが記憶に新しい。若い人々とも大いに盛り上がった、評者にとっても懐かしい往時の光景が、まざまざと脳裏によみがえる。その後、氏

臨床研究と論文文化、険しい道程の傍らに置くべき一冊

みんなの臨床研究・論文作成

辻本哲郎

Original Article 40本、論文査読100本以上!

リサーチクエスチョンの立て方は? 論文はどのように書くの? 英語が苦手でも大丈夫? 査読者は何を求めているの?

臨床で研究・論文作成を続ける著者がまとめた至極の手引書

評者 野田 光彦

国際医療福祉大学川病院教授・糖尿病・代謝・内分泌内科

は虎の門病院分院の糖尿病内分泌科の医長へと転ぜられ、忙しい日常を過ごしているものと拝察している。評者のもとから巣立ったあとも、梶尾裕国立国際医療研究センター病院副院長、森保道虎の門病院内分泌代謝科部長のもとで、臨床、そして研究と、ワイドレンジに積極的に活動されている。今後のますますの活躍を期待したい。

臨床研究と一口に言っても、その過程は平坦なものではない。評者自身、多くの臨床研究を手がけ、また、その論文文化にも携わった。道中に立ちほだかるさまざまな隘路は熟知しているつもりである。そしてとりわけ、初めてその道程をたどる者にとっての、途上にある非常に高い障壁についても、誰もが容易に想像しようと感ずるところである。

これらの点に鑑みれば、統計解析や臨床研究の組み方、あるいは医療倫理に関する書籍が枚挙にいとまのないことも首肯できるが、評者もこれまでにやってきたような、「英文論文を投稿する前には英文校正をかけておこう」「共著者の先生方に最終確認していただくように」といった投稿に際しての基本事項や、「投稿後にリバイズになった際のレスポンスは手紙形式でこう書いて」「アクセプトされても校正の

切る・縫う・結ぶ・止める 外科基本手技+応用スキル[Web動画付]

小坂 真一 ● 著

B5・頁220
定価:6,600円(本体6,000円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-04285-7

評者 塩瀬 明

九大大学院教授・循環器外科学

一流のスポーツ選手や音楽家の感動を呼ぶ華やかなパフォーマンスの裏には、長年の地道な基本手技の繰り返しによる習得がある。本書は、外科医にとっての基本手技の重要性を説き、文章でも写真でもイラストでも動画でもその手技を理解できるよう工夫されている。さらに手の固定、指の使い方、回旋、感覚など今まで漠然と経験的に取得してきた「外科医の手」について、解剖学的特性から理路整然と解き明かされたことは画期的である。

手指の効率的な動かし方に基づいた鑷子、鉗、持針器などの道具の使い方や糸結びについて、若手のみならず経験豊富な外科医にも大いに学ぶべき内容、解説が随所に述べられている。日頃から道具の特性を熟知し、敬意を払って丁寧に使うべし、という著者の立場から、道具の構造から使用方法まで解説されているため、外科医各個人が自分に合った道具を選ぶ際に大いに参考になる。外科手術では避けて通れない止血の項目では、効果的な止血点の探索法や止血法のエッセンス

が述べられ、実際の手術で止血に困った時には、本書で述べられていることを参考にすれば出血コントロールも可能であろう。

本書を通して随所に「コツ・勘所」がハイライトで述べられ、その数は58にのぼる。著者のこれまでの経験に裏打ちされた基本手技の肝となることがそれぞれ一文で述べられているので、必要な箇所を書き出して日頃から繰り返し見直したり、手術に臨む前に見直したりするのも本書の一つの使い方かもしれない。

手術で実力を発揮するためには外科基本手技の習得が必須条件である。基本手技習得に際して“変な癖”がつかないように良質の導きが必要であり、本書で重点的に述べられている“切る・縫う・結ぶ・止める”に沿って不断的努力を続けると、自ずと良質なパフォーマンスの基本となる手技が習得できることは間違いない。

本書は経験年数にかかわらず外科医にとって重要な基本手技に立ち返る際に手元に置いておくべき書である。

辻本哲郎氏の手になるこの書物は、医師はもとより、医師以外の職種で医学研究を志される方、始められる方々にとっても、必須の一冊である。また、臨床研究やその論文文化を指導される立場の先生方にとっても、個々に進みつつある研究と論文文化への過程の各々の現在地において、ポイントを外すことなく備忘するための好個の一冊といえる。多くの人々にぜひ手元に置いていただき、日本からの臨床情報の発信に大いに役立てていただきたい。

締め切りがすぐに来るので、投稿した論文編集部からのメールに注意してね」といった具体的な指導は、伝統芸能や古武道のように口承伝達の域を出ておらず、そのような内容までしっかりと記載されている成書は本書が初めてであろう。

本書では、各々のステップごとに懇切丁寧な記載がなされており、確実な方針が紛れなく提示されている。「ですます調」のやさしい文面は、氏の人となりをもまさに具現しているとも感ずるところで、一瞥するだけで非常に取り掛かりのよい書籍であると断言でき

医学書院ウェブサイト 何ができるの?

医学界新聞
閲覧

学会情報
check

書籍
立ち読み

カルテの思わぬ落とし穴とは?
ポイントを押さえた先読みの記載があなたの身を守る!

トラブルを未然に防ぐ カルテの書き方

編集 吉村 長久 山崎 祥光

紛争・トラブルになり得るケースを多数紹介し、無用なトラブルを避けるためのポイントを押さえたカルテ記載の方法を伝授。臨床(医師)と紛争対応(弁護士)の双方の視点を押さえた先読みの記載があなたの身を守る!

詳細は
こちら



●B5 2022年 頁216
定価:3,960円(本体3,600円+税10%)
[ISBN978-4-260-04806-4]

CONTENTS

巻頭付録 疑問点マップ(本文参照頁付き)

第1章 カルテ記載の大原則
一書くべきこと・書くべきではないこと

第2章 訴訟上の事実認定とカルテ
一書かなかったら「なかったこと」に!

第3章 カルテの記載が特に重要になる場面

第4章 カルテ以外の重要な文書と注意すべき場面

第5章 開示や修正を求められたら

巻末付録 関連法の抜粋

医学書院

トラブルを未然に防ぐ
カルテの書き方

カルテの不備による思わぬ落とし穴とは?
臨床の視点 紛争対応の視点

ポイントを押さえた先読みの記載があなたの身を守る!

オンライン開催
参加費無料
登録不要

日本医学会
創立120周年記念事業
～日本近代医学創成から120年とこれからの120年～

日時 2022年4月2日(土) 13:00～

13:00～13:30 式典

13:30～14:00 『日本の近代医学と日本医学会の歩み
～日本医学会創立120周年記念誌から』

14:00～17:10 シンポジウム:未来への提言

詳細は特設Webサイトへ
<https://jams.med.or.jp/jams120th/>

ぼくとがんの7年

松永 正訓 ● 著

四六判・頁248
定価：1,980円（本体1,800円＋税10%） 医学書院
ISBN978-4-260-04926-9

医師になって8年目の夏、私は初めて全身麻酔手術を体験した。病名は、右肩の腱板断裂。4本のうち2本が断裂し、上腕二頭筋腱も損傷しているという、ひどい状態だった。整形外科で手術を受け、入院は3週間、通院でのリハビリは1年にわたった。

その時の経験は、今でも自分の肥やしになっている。治療の副作用や合併症への不安、検査のつらさ、全身麻酔に対する恐怖。患者に対してなら「大したことはありませんよ」と笑顔で話せたことの数々が、当事者にすればあまりに重かった。患者の立場になり、見えなかったものが見えたのだ。

『ぼくとがんの7年』では、ベテラン医師である著者ががんと診断され、繰り返し手術を受け、再発を経験する中で、目まぐるしく変化する心の有様が克明に描かれる。私よりはるかに心理的にこたえるであろうと思うのは、病名が「がん」であり、それが紛れもなく死を連想させるからだ。

小児外科医として数々の患者や家族と向き合い、厳しい世界で戦い抜いてきた著者が、当事者になって冷静さを失い、時にふさぎ込み、自己と葛藤する様子は胸に迫るものがあった。そして、そうした「弱い自分」を客観視し、淡々と、時にユーモラスに言語化する様には、強く感銘を受けた。真に強い人間こそが、自分の弱さをありのままに受容できるのだろう。

当事者になった途端に合理的な考えができなくなる自分にに対し、

〈ぼくは医者の中でも、大学時代に熱心に研究をやって業績を上げてきた学究肌なのに、患者になると途端に理論だった思考から逸脱してしまうと思い知った。〉

と語る著者の言葉は重い。医師として患者と相対すると、「合理的に考え

れば自ずと患者がとるべき選択肢は明らかだ」と考える場面はしばしばある。しかし、「合理的に考えることのできない心理状態」に陥った患者に対し、

どのように接するべきか、という思考は案外忘れがちで、患者の病気は容易に「対岸の火事」になってしまう。本書で描き出される当事者心理は、患者をドライに扱いがちな医師にとって、頭を殴られたような衝撃があるだろう。

代替療法に関しても、その科学的根拠の乏しさを重々理解しながら、しかし強い関心を抱く自分を抑えきれない様子が描かれる。

〈〇〇はがんにいいという記事をネットで見つけたりすると、思わず読んでしまう。読んでがっかりするのだが、それでもまた読む。がん患者は悩める患者だ。〉

合理的に考えれば、代替療法は時間的にも金銭的にも、メリットは少ない。だが、そうした思考ができるのは、「対岸」にいる人だけだ。患者と同じ立場で一緒に「悩める」かどうか。がんを診療する医師として、本書からそう問われていると感じた。

なお、詳細は書けないが、本書の最後には一つの大きな仕掛けがある。そこには天地がひっくり返るような一文があり、読者は思わず冒頭から読み直すことになるだろう。そして、著者が「ぼくももう少しよく生きて、生き切ったら、よく死のうと思っている」という境地にたどり着いた理由も、クリアな輪郭を持って見えてくるはずだ。

本紙編集室では Twitter, Facebook にて、毎週更新情報をお知らせしています。

@igakukaishinbun

記事についてご意見・ご感想をお寄せください。



プラチナファミリー 若手・ベテラン問わず、医師・ナース・コメディカルみなさまに

新刊

プラチナの原点、大改訂
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 新規追加

感染症プラチナマニュアル Ver.7
2021 2022

著 岡秀昭
埼玉医科大学教授 総合医療センター病院長補佐
総合診療内科・感染症科診療部長

通常版
定価 2,420 円
(本体 2,200 円＋税10%)
三五変 頁596 図9 2021年
ISBN978-4-8157-3028-4

グランデ版
定価 3,960 円
(本体 3,600 円＋税10%)
A5変 頁596 図9 2021年
ISBN978-4-8157-3029-1

精神診療プラチナマニュアル 第2版
著 松崎 朝樹
筑波大学医学部臨床医学域
精神神経科講師

通常版 定価 2,200 円 (本体 2,000 円＋税10%)
グランデ版 定価 3,850 円 (本体 3,500 円＋税10%)

MDSi メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

TEL (03) 5804-6051 http://www.medsci.co.jp
FAX (03) 5804-6055 Eメール info@medsci.co.jp

プラチナファミリーの
あたらしい仲間です

**消化器診療
プラチナマニュアル**

著 小林 健二
市立大町総合病院
内視鏡室長
副内科部長

シンプルで濃い

■幅広い消化器領域の症候、疾患、治療薬について、外来・病棟で活用できる項目に絞り、胸ポケットに入るボリュームにまとめた。
■「5大原則」に始まり、「治療薬と検査・手技」、「関連の症候」、「主な疾患」に分けて全42項目で構成。
■日常診療で困ったときの指針を国内外で経験・研鑽を積んできた著者がわかりやすく解説。

定価 2,200 円
(本体 2,000 円＋税10%)
三五変 頁288 図13・表40 2021年
ISBN978-4-8157-3023-9

感染症がたやすく国境を越える時代だからこそ必要な グローバルな視点からのアプローチ

新刊

2週間で学ぶ臨床感染症

▶熱帯医学のメッカ、英国のOxford University Press刊 Oxford Case Historiesのロングセラー、感染症編の翻訳。47の症例を臓器別に全8セクションに分け系統立てて解説。Q&A形式で日々の感染症診療に役立つ病態の理解の補助となる実践的な基礎知識が2週間で身につく構成。感染症がたやすく国境を越える現状を踏まえ、グローバルな視点をもってアプローチする。感染症の知識を深めたい医学生、研修医、内科専攻医に最適。

監訳：清田雅智 飯塚病院総合診療科診療部長
的野多加志 飯塚病院感染症科部長

定価 4,400 円 (本体 4,000 円＋税10%)
A5 頁392 写真50 図9 2021年
ISBN978-4-8157-3033-8

MDSi メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

TEL (03) 5804-6051 http://www.medsci.co.jp
FAX (03) 5804-6055 Eメール info@medsci.co.jp

2週間で学ぶ臨床感染症

グローバルな視点からのアプローチ

定価 4,400 円 (本体 4,000 円＋税10%)
A5 頁392 写真50 図9 2021年
ISBN978-4-8157-3033-8

今日の 皮膚疾患治療指針

第5版

編集 佐藤 伸一／藤本 学／門野 岳史／梶島 健治

「病態」「診断」「治療」の3本柱で疾患を簡潔に解説するとともに、フルカラーの豊富な写真と具体的な処方例も収載。大好評の「プライマリケアのための鑑別診断のポイント」の章は一般内科医にも役立つ内容。「外用薬の基剤ごとの使い分け」「免疫チェックポイント阻害薬による薬疹」などの新項目も加わりさらにパワーアップ。

書籍の詳細は
こちらから



contents

- 1 プライマリケアのための鑑別診断のポイント
- 2 皮膚科の主な検査法
- 3 皮膚科の主な治療法
- 4 湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚掻痒症、紅皮症
- 5 蕁麻疹
- 6 紅斑症
- 7 紫斑病
- 8 角化症
- 9 炎症性角化症
- 10 水疱症
- 11 無菌性膿疱症とその関連疾患
- 12 膠原病とその類縁疾患
- 13 脈管性皮膚疾患
- 14 代謝異常症
- 15 真皮の疾患
- 16 先天性結合組織疾患
- 17 非感染性肉芽腫症
- 18 薬疹
- 19 物理・化学的皮膚障害
- 20 色素異常症
- 21 母斑、母斑症
- 22 上皮的皮膚腫瘍
- 23 神経系皮膚腫瘍
- 24 間葉系皮膚腫瘍
- 25 リンパ・造血組織系皮膚腫瘍
- 26 ウイルス・リケッチア性皮膚疾患
- 27 細菌性疾患
- 28 真菌・原虫疾患
- 29 性感染症
- 30 動物性皮膚疾患
- 31 付属器疾患
- 32 粘膜疾患
- 33 内臓病変と皮膚病変
- 34 皮膚疾患の遺伝相談
- 35 皮膚心身症

皮膚科診療をこの1冊に網羅！
オールカラーの全面改訂版

医学書院

●A5 2022年 頁1160 定価：17,600円(本体16,000円+税) [ISBN978-4-260-04593-3]

3 medicina Vol.59 No.3

成人が必要とするワクチン

生涯を通した予防接種の重要性 企画：氏家無限
(国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

本特集では、小児から大人までの予防可能な感染症を対象とした“Life course immunization(生涯を通した予防接種)”の必要性を具体的に理解できるよう、「ワクチン」を必要とする成人のグループと「成人が必要とする各ワクチンの特性」の2つの切り口で、専門家の先生方に概説いただいた。本特集を通じて、より多くの医療従事者が「成人が必要とするワクチン」を予防医療に活用するきっかけとなり、予防できる疾患の負荷軽減に繋がる一助となれば幸いである。

INDEX

- 第1章 ライフコース予防接種の概要
- 第2章 予防接種を必要とする成人
- 第3章 成人を予防する代表的なワクチン

●1部定価：2,860円(税込)

▶2022年増刊号(Vol.59 No.4)

フィジカル大全 読んで、見て、聴いて、 身体診察を完全マスター!

企画：徳田安春(群星沖縄臨床研修センター)
●特別定価：6,050円(税込)

- 連載
- 読んだら、ちょいあて！POCUSのススメ
 - 治らない咳、どう診る・どう処方する？
 - 続・ケースレポートを書こう！
“論文の軸の設定”トレーニング
 - 主治医の介入でこれだけ変わる！
内科疾患のリハビリテーション
 - 目でみるトレーニング

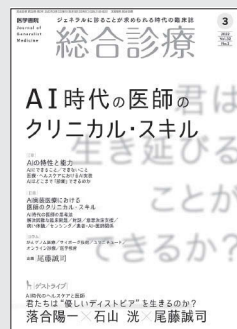
来月の特集(Vol.59 No.5) 症例から学ぶ 電解質と体液量管理の ベストアンサー

企画：今井直彦(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
腎臓・高血圧内科)

医学書院サイト内 各誌ページ
にて記事の一部を公開中!



<https://www.igaku-shoin.co.jp/mag/medicina>



<https://www.igaku-shoin.co.jp/mag/sogoshinryo>

Vol.32 No.3

総合診療

AI時代の医師のクリニカル・スキル

君は生き延びることができるか 企画：尾藤誠司(東京医療センター 内科医長)

医療における「AI実装」が進んでいる。AIが得意とする記憶・分析に基づく「問題解決能力」は、もはや“優秀な医師”の条件ではなくなるかもしれない。AI実装の現在地を明らかにし、医師に求められるクリニカル・スキルのありようを展望した。巻頭座談会には、テクノロジー開発の先端をいく落合陽一氏・石山洸氏が登壇!

INDEX

【ゲストライブ】AI時代のヘルスケアと医師
君たちは「優しいディストピア」を生きることができるか…落合陽一・石山 洸・尾藤誠司

【I章：AIの特性と能力】①AIに「できること」と「できないこと」…石川翔吾／②医療・ヘルスケアにおける「AI実装」の現状と可能性…川上英良／③10年後のAIはどこまで「診断」できるようになるか…古川渉太・木下翔太郎・岸本泰士郎

【II章：AI実装医療における医師のクリニカル・スキル】＜総論＞“未来医師”のコンピテンシー「ポスト問題解決志向」と2つの「思考OS」…尾藤誠司／①「解決困難な臨床問題」(病名がつかない健康問題など)への関与の技法—複雑な状況を複雑なまま扱うスキル…喜瀬守人／②臨床において「対話」は何をもたらすか—オープンダイアログ(開かれた対話)に学ぶ…森川すいめい／③「意思決定支援」の技法…浅井 篤・大北全俊／④「病い体験」を“物語”として捉え関与するための技法—NBM(narrative-based medicine)を実践する…小林美亜／⑤医療・ヘルスケアにおける「センシング技術」…千葉敏雄／⑥「患者-AI-医療者関係」となった環境における医師の役割と責任…田中雅之・松村真司

【コラム】①「がんゲノム医療」と「個別化医療」の今後…高見澤重賢・小山隆文／②身体の「サイボーグ化」は何をもたらすか?…粕谷昌宏／③「ユマニチュード」と“まなざし”を解析するAI…本田美和子／④「オンライン診療」の普及によって医療のかたちはどう変わるか?…野村章洋／⑤AI時代の「医学教育」…赤津晴子

●1部定価：2,750円(税込)

▶来月の特集(Vol.32 No.4)

えっ、これも!? 知っておきたい意外なアレルギー疾患
企画：島 博・上田剛志(洛和会丸太町病院 救急・総合診療科)

年間購読 受付中!

年間購読は個別購入よりも割引!!
配送料は弊社負担、確実・迅速にお届けします。
詳しくは医学書院WEBで。

2022年 年間購読料

▶medicina 40,788円(税込)(増刊号・増大号を含む年13冊)

▶総合診療 32,472円(税込) 個人特別割引28,248円(税込)

医学生・初期研修医割引22,044円(税込)

電子版も選べ
いただけます

医学書院